

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当社のSDGs達成に向けた経営方針は、「地域社会に貢献できる人材の育成」を柱に、「あらゆる企業の手本となる企業になる」こと、そして「社員が誇りをもって働ける企業になる」ことです。今後も、建設部門の最上流端の業務に携わっている企業として、社会資本整備や、災害時の緊急対応、復旧・復興の一役を担える存在となり、よりよい社会の実現を目指していきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	世界の子供にワクチン提供の賛同 (NPO法人、「世界の子供にワクチンを日本委員会(JVC)」の エコキャップ運動参加)	2023年 3,150個 ↓ 2026年 3,500個
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	年齢を問わない中途採用の実施及び 65歳(定年)以降の継続的雇用	2023年 3名採用 ↓ 2026年 3名希望
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	災害時等緊急対策に関する基本協定の締結	国交省他自治体との締結 2023年⇒県内3事務所 ↓ 2026年⇒県内3事務所継続

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

- ・エコキャップ運動に関して、NPO法人「世界の子供にワクチンを日本委員会(JVC)」に賛同。
- ・地震や豪雨その他の災害有事に際して、県内3事業所と測量・設計部門において各々協定を締結。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	世界の子供にワクチン提供の賛同 (NPO法人、「世界の子供にワクチンを日本委員会(JVC)」の エコキャップ運動参加)	2019年8月 ⇒ 860個 2021年6月 ⇒ 1,720個 2023年 ⇒ 2,000個
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	分別を意識することにより、目標に対して大幅に達成することができた。	2023年 ⇒ 3,150個
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	年齢を問わない中途採用の実施及び 65歳(定年)以降の継続的雇用	HP、ハローワークによる実施 2019年⇒37~53歳、3名 2020年⇒41歳、1名 採用 2023年⇒3名 希望
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	65歳以上の社員の継続的雇用もしており、2023年度までに4名採用することができた。	2022年⇒1名 2023年⇒3名
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	災害時等緊急対策に関する基本協定の締結	国土交通省各事務所との締結 2020年⇒県内2事務所 2021年⇒県内3事務所 2023年⇒県内3事務所継続
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	国交省は1事業所へ減ってしまったが、協会を通じて新たに熊本県及び熊本市と災害協定を締結した。	2023年⇒県内3事務所 (国、県、市と協定)

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。